

移住促進分野のバージョンアップの方向性について

現状(1): 地域別移住実績(単位:組) ※H27.12月末時点

移住実績(12月末)

363組588人

対前年同期比127%

※移住先地域不明者
(33組52人を含む)

安芸地域

37組54人

物部川地域

21組36人

高知市地域

90組153人

嶺北地域

28組50人

仁淀川地域

36組48人

高幡地域

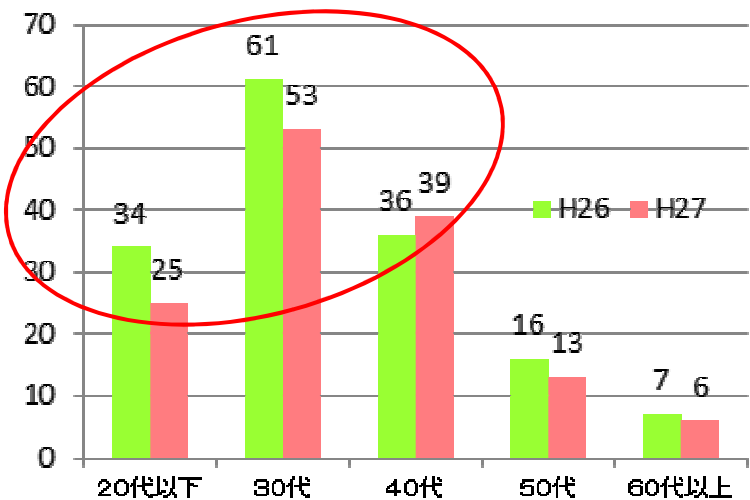
39組73人

幡多地域

79組122人

現状(2): 移住者の属性(県の窓口を通じた把握分「141組」の内訳) ※H27.12月末時点

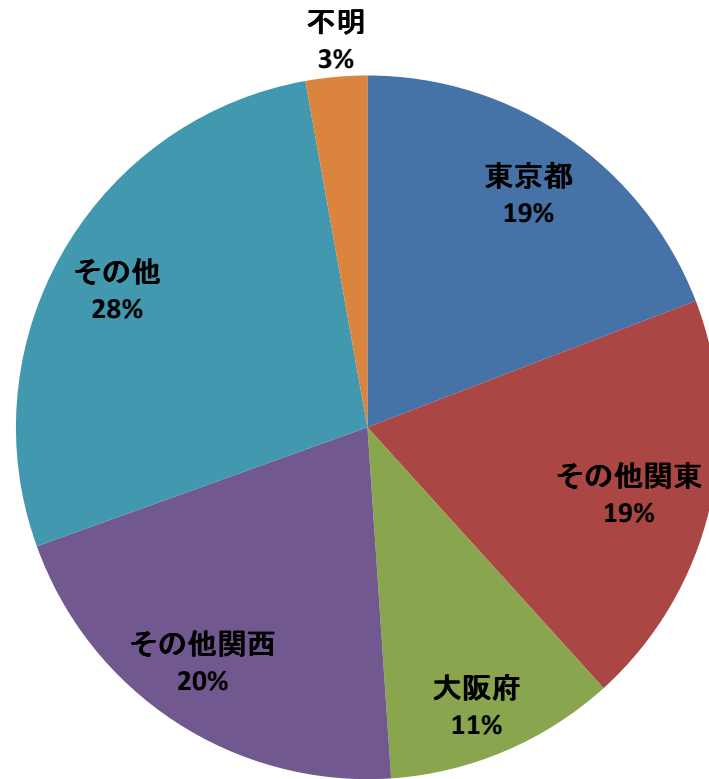
①年代(単位:組) ※不明者を除く



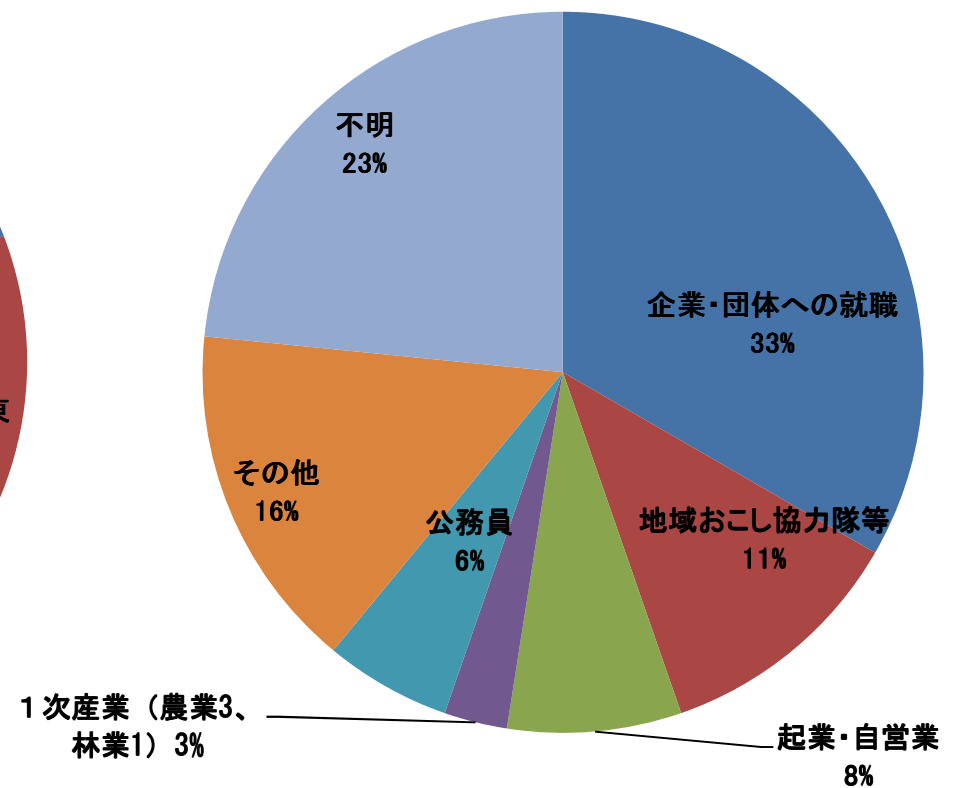
②出身(単位:%)

高知県	45(32%)
高知県以外	83(59%)
不明	13(9%)

③移住前住所地(単位:組)



④移住後の就業等の状況(単位:組)



現状(3): 専門相談員、地域移住サポーター配置状況 ※H27.12月末時点



専門相談員の配置 26市町村



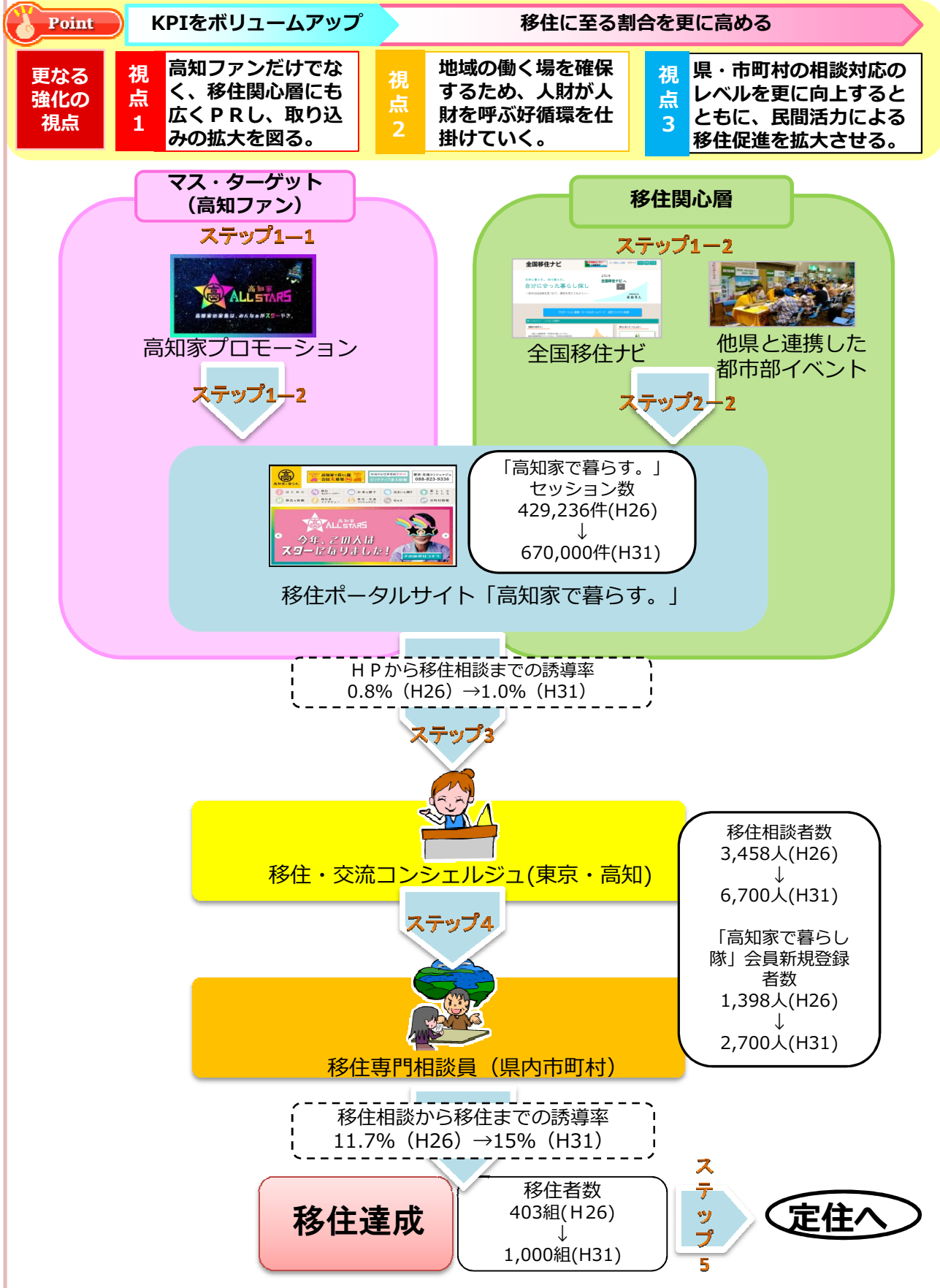
地域移住サポーターの配置 15市町村59人

移住促進分野の展開イメージ（案）

○分野を代表する数値目標については、暫定値です。
○今後、関係者の皆様やフォローアップ委員会等のご意見を踏まえて、最終案をとりまとめ、3月のフォローアップ委員会で議論のうえ、正式に決定します。

分野を代表する目標 **県外からの移住者** 現状値（H26）：403組⇒4年後（H31）：1,000組

移住までの流れ





移住に繋がるプロジェクトの展開について

地域が求める人材ニーズ

企業系

志を持ちながら、何をするのかをまだ絞り込めていない方を対象

福祉系

一次産業系

地域系

「PJ」①：都市部人材と地域を繋ぐ仕掛けづくり

◆現地を見て、知ってもらうことで、志を喚起し、移住に結び付ける

NEW

「遊⇒志」ツアー

高知の「遊」の要素から「志」に導くツアー
【特徴：高知の暮らしや仕事に触れる】

NEW

セミナーからツアーまで一体的に実施

「志⇒住」ツアー

高知への志移住を促すツアー
【特徴：高知の仕事・暮らしを知る、人とつながるツアー】

都市部でのセミナー

高知ファンや移住関心層の志に訴求するセミナー

志を持ち、何をするのかを一定絞り込んだ方を対象

NEW

各産業分野のインターンシップ・研修

農業：こうちアグリスクール
各地域の農業インターンシップ
林業：林業の担い手研修
水産：漁業の短期研修、長期研修
福祉：福祉職場体験
商工：県内企業のインターンシップ

各産業分野のツアー

農業：産地提案型の現場を巡るツアー
林業：林業の現場を巡るツアー

NEW

・「高知家まるごとインターンシップ」として広報
→各分野のツアー、インターンシップ・研修情報をとりまとめて県外に発信

高知暮らし体感ツアー

高知への移住を決断してもらうツアー

「PJ」②：都市部人材を地域に呼び込む受け皿づくり

◆新たに活躍の場を創り、高知の魅力を向上させることで、移住に結び付ける

多様な仕事を生み出す (第3期産業振興計画)

- ・地域産業クラスターの形成
- ・起業支援
- ・県外企業の誘致
- ・地域AP など

NEW

高知版CCRC

人材誘致を促進する取り組み

様々な求人ニーズを持つ複数の機関相互のパス回しを強化、求職コーディネーターによる情報提供、民間と連携した出向人材の確保、求人企業を招いた移住フェアの開催、都市部人材を対象にした起業支援研修の開催 など

都市部

潜在的な高知ファン
潜在的な移住関心層

顕在化された高知ファン
顕在化された移住関心層

高知への移住を真剣に
考えている方

中核人材
企業人材

アクティブシニア



“意外と知らなかった!?” 数字で見る高知家の暮らし

平成28年1月
高知県産業振興推進部移住促進課





数字でみる高知家の暮らし

女性



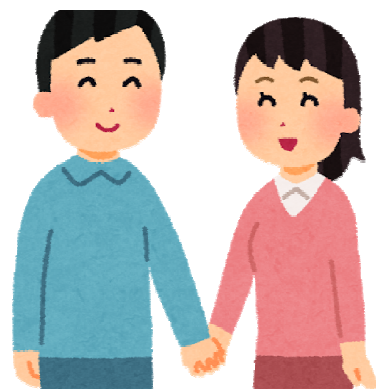
- **活躍する女性の多さは全国トップレベル**
 * 管理職に占める女性の割合は21.8% **全国1位!**
 * 起業者に占める女性の割合は18.2% **全国1位!**

単身世帯



- **大都市圏と比較すると自由に使える時間が多い**
 * 平日の自由に使える時間/日 東京都：5時間32分 高知県：6時間
- **高知は会社の規模は小さい分、1人1人の果たす役割は大きい**
 * 1事業所当たりの従業員数 東京都：13.8人 高知県：7.66人

夫婦2人世帯



- **共働きが多く、世帯収入は大阪や全国平均を上回っている**
 * 世帯の実収入/月 大阪市：490,339円 高知市：559,069円
- **支出が少なく、家計収入から支出を差し引いた黒字額は東京を上回っている**
 * 黒字額/月 東京都区部：114,173円 高知市：119,300円

子育て世帯



- **大都市圏と比較すると自由に使える時間が多い**
 * 平日の自由に使える時間/日 東京都：5時間32分 高知県：6時間
- **大都市圏と比較すると出産・子育てによる離職が少ない**
 * 育児をしている女性の有業率 東京都：50% 大阪府46.7% 高知県：66.7%



高知家の統計データ（家計編）

①東京・大阪・高知の1ヶ月間の家計収支（2人以上の世帯のうち勤労者世帯の平均）

単位：円

	東京都区部		大阪市		高知市		備考
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
実収入	590,686	-	490,339	-	559,069	-	世帯全員の現金収入
● うち世帯主収入	493,816	83.6%	406,310	82.9%	379,749	67.9%	
● うち配偶者収入	59,978	10.2%	50,266	10.3%	93,570	16.7%	
実支出	476,513	-	355,059	-	439,769	-	消費支出と非消費支出の合計
● 消費支出	355,665	74.6%	289,904	81.6%	335,862	76.4%	日常に必要な生活費
食料	85,096	23.9%	70,393	24.3%	69,300	20.6%	「地元ならではのおいしい食べ物が多かった」部門の都道府県ランキングで高知は第1位！（「じゃらん宿泊旅行調査2015」）
住居	32,240	9.1%	20,289	7.0%	17,984	5.4%	
光熱・水道	22,364	6.3%	21,469	7.4%	22,714	6.8%	
家具・家事用品	12,532	3.5%	8,198	2.8%	9,575	2.9%	
被服及び履物	18,888	5.3%	13,456	4.6%	12,033	3.6%	
保健医療	13,803	3.9%	9,805	3.4%	9,992	3.0%	
交通・通信	45,919	12.9%	42,207	14.6%	54,891	16.3%	
教育	22,037	6.2%	23,949	8.3%	16,840	5.0%	
教養娯楽	42,030	11.8%	26,480	9.1%	32,369	9.6%	
その他の消費支出	60,756	17.1%	53,657	18.5%	90,163	26.8%	
● 非消費支出	120,849	25.4%	65,155	18.4%	103,908	23.6%	税金、社会保険料
可処分所得	469,837	-	425,183	-	455,162	-	手取り収入（実収入－非消費支出）
黒字額	114,173	-	135,279	-	119,300	-	実収入－実支出

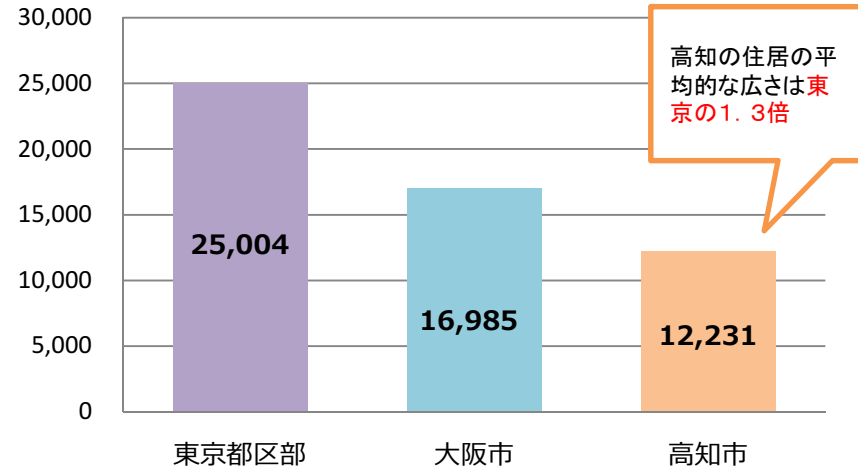
高知は配偶者の有業率が高い（共働きで世帯を支える傾向が強い）
 東京：39.3%
 大阪：40.1%
 高知：50.1%

「地元ならではのおいしい食べ物が多かった」部門の都道府県ランキングで高知は第1位！（「じゃらん宿泊旅行調査2015」）

仕送りは多い
 東京：3,244円
 大阪：4,416円
 高知：19,581円

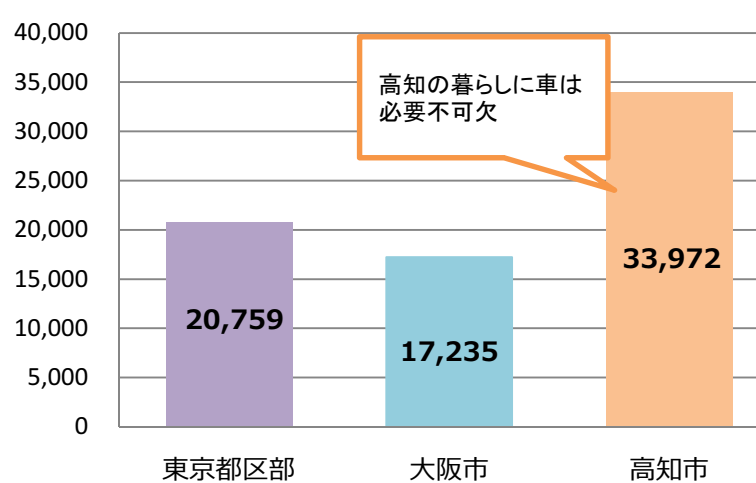
②家賃地代（勤労者世帯の平均）

単位：円



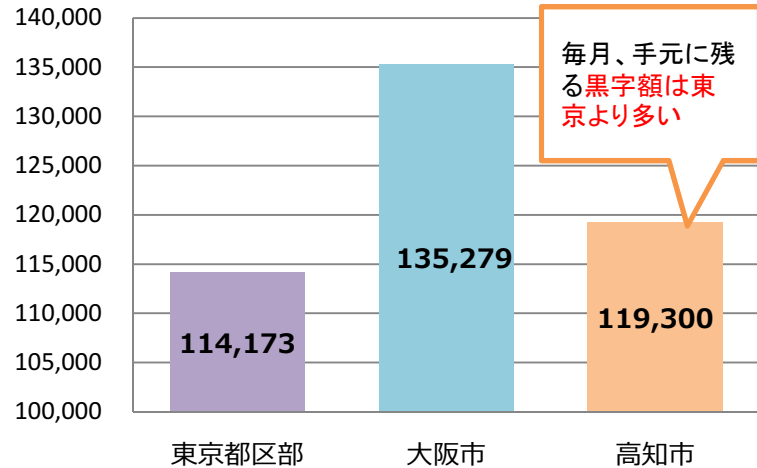
③自動車等関係費（勤労者世帯の平均）

単位：円



④黒字額（勤労者世帯の平均）

単位：円



【参考】民営借家に入居している勤労者世帯の家賃地代
 関東：73,797円 近畿：65,542円 四国：52,115円

出典：総務省統計局「家計調査年報（家計収支編）平成26年（2014年）」

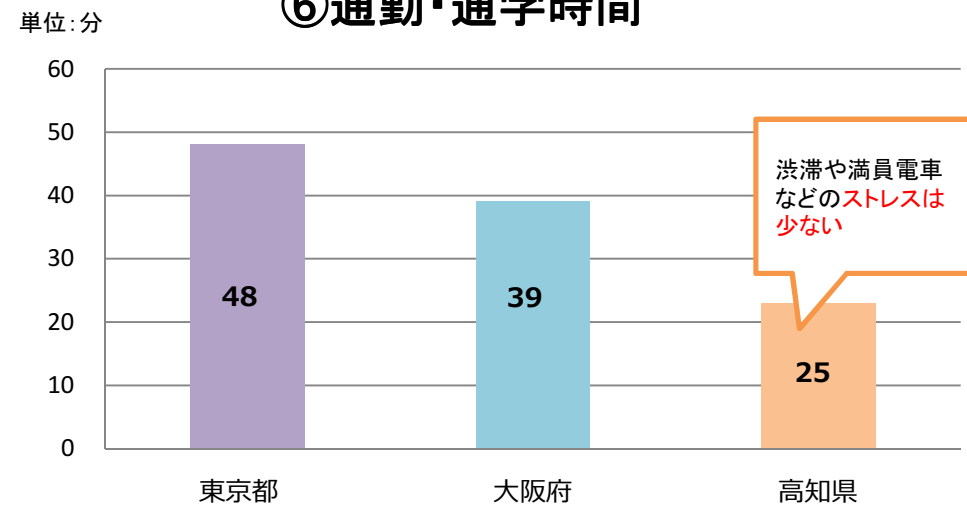


高知家の統計データ（生活編）

⑤ 平日の生活時間／日

	東京都	大阪府	高知県	備考
1次活動時間	10時間27分	10時間24分	10時間53分	睡眠、食事など
2次活動時間	8時間1分	7時間40分	7時間7分	仕事・通勤、家事など
3次活動時間	5時間32分	5時間56分	6時間	自由に使える時間

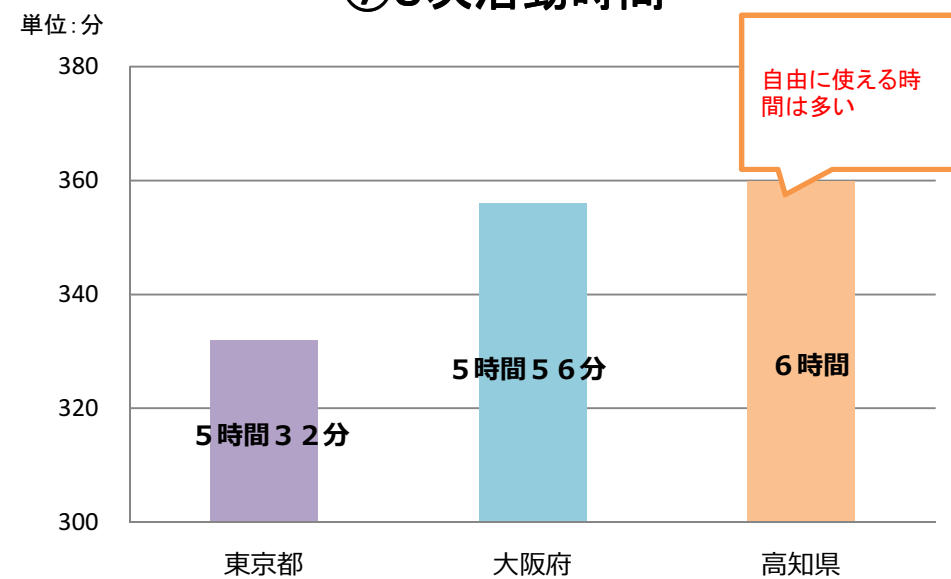
⑥ 通勤・通学時間



通勤・通学時間／都道府県ランキング(時間の少ない順)

順位	都道府県名	時間
1位	宮崎県	24分
2位	高知県	25分
2位	鳥取県	25分
2位	愛媛県	25分
2位	大分県	25分
6位	青森県	26分
7位	島根県	26分
8位	岩手県	27分
9位	秋田県	27分
10位	熊本県	27分
	全国平均	38分

⑦ 3次活動時間



3次活動時間(自由時間)／都道府県ランキング(時間の多い順)

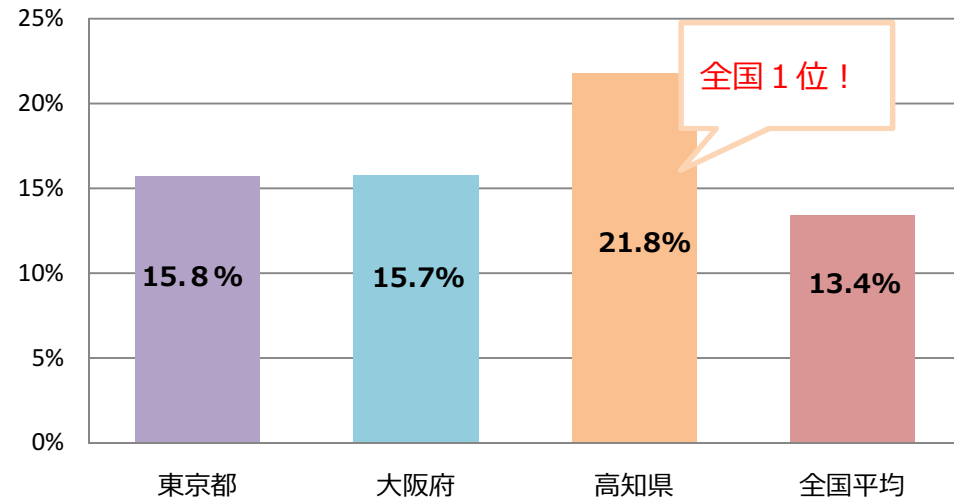
順位	都道府県名	時間
1位	北海道	6時間18分
2位	大分県	6時間9分
3位	愛媛県	6時間6分
4位	青森県	6時間2分
5位	三重県	6時間1分
5位	長崎県	6時間1分
7位	高知県	6時間
7位	兵庫県	6時間
9位	福岡県	5時間58分
10位	和歌山県	5時間57分
	全国平均	5時間48分

出典：総務省統計局「平成23年社会生活基本調査」(総平均時間)

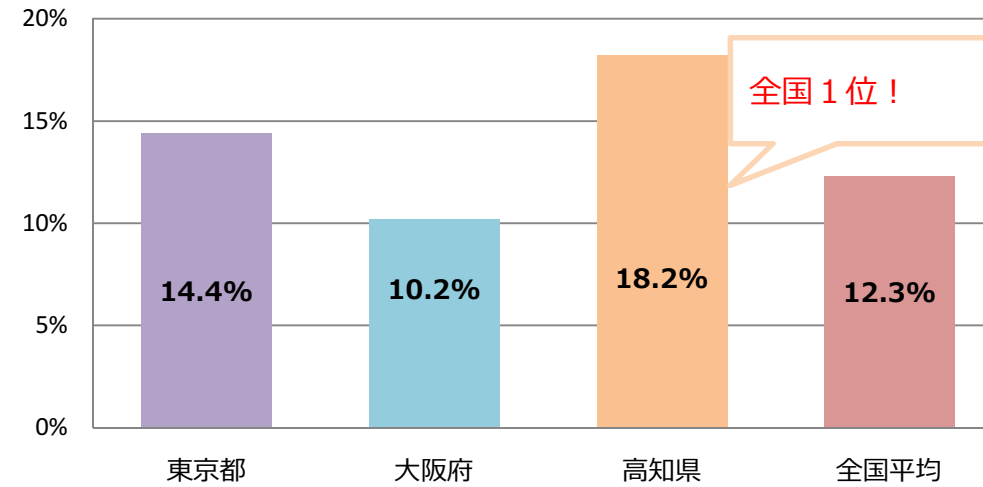


高知家の統計データ（仕事編）

⑧ 管理的職業従事者に占める女性の割合

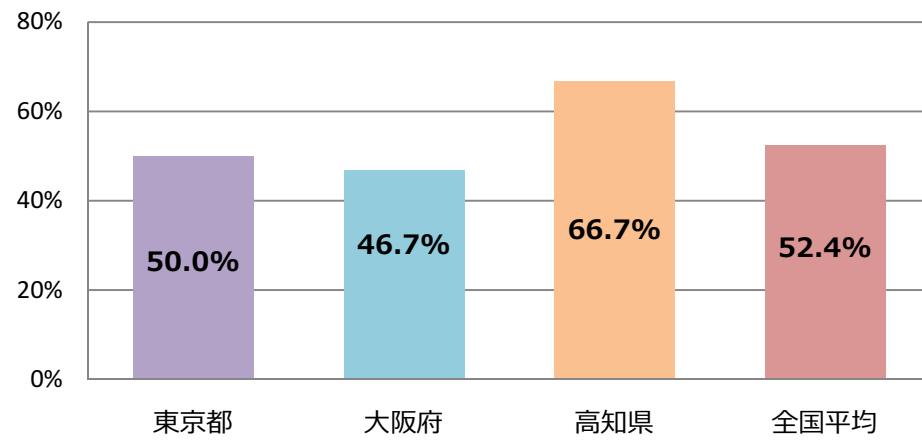


⑨ 都道府県別起業者に占める女性の割合

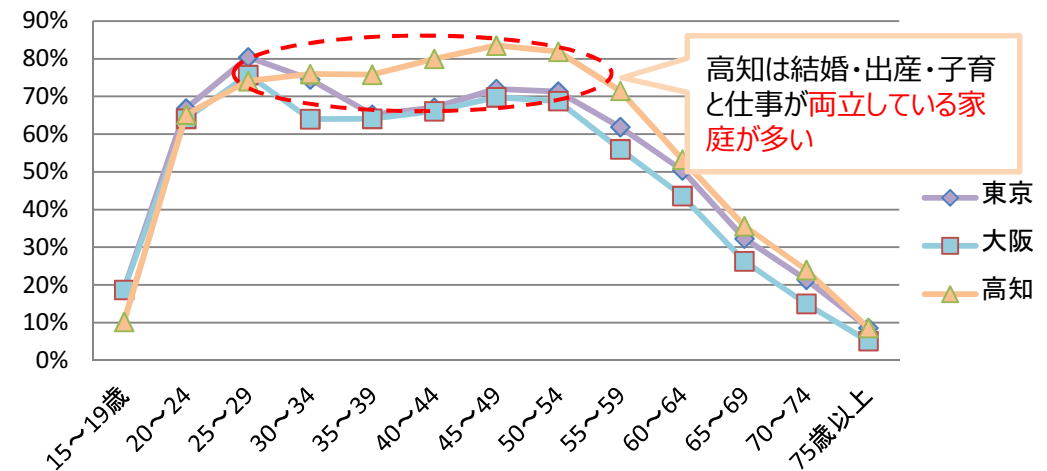


⑩ 育児をしている女性(22~44歳)の有業率

※小学校入学前の幼児を対象とした育児

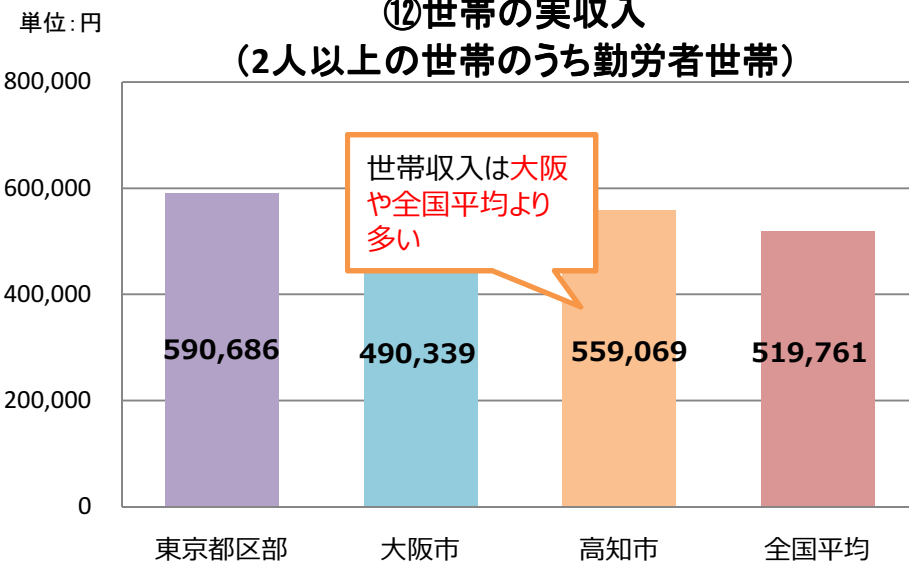


⑪ 都道府県別女性の年齢階級別有業率



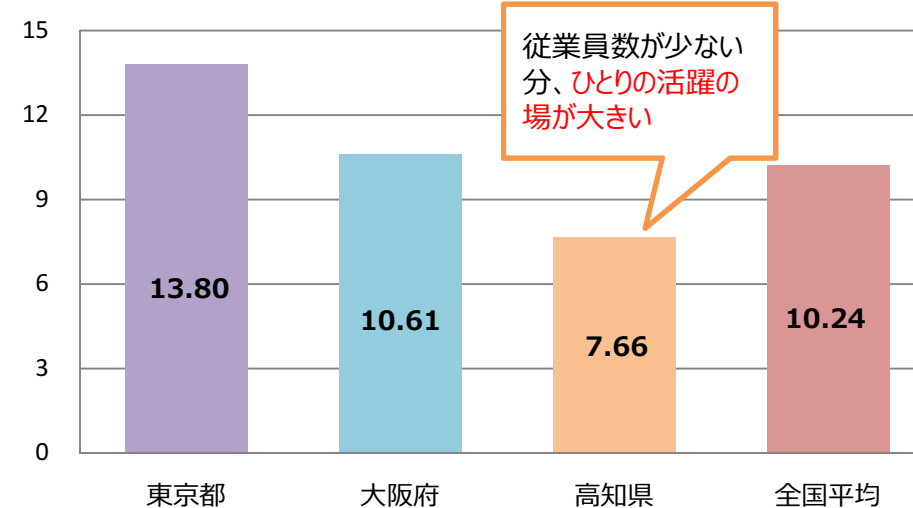
出典：総務省統計局「平成24年度就業構造基本調査」

⑫ 世帯の実収入 (2人以上の世帯のうち勤労者世帯)



出典：総務省統計局「家計調査年報(家計収支編)平成26年(2014年)」

⑬ 民営事業所従業員者数(1事業所当たり)



出典：総務省・経済産業省「平成24年経済センサス-活動調査結果」